



2019年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2018年8月9日

上場会社名 株式会社ディー・エヌ・エー 上場取引所 東
 コード番号 2432 URL <http://dena.com/jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長兼CEO (氏名)守安 功
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員経営企画本部長 (氏名)大井 潤 (TEL) 03(6758)7200
 四半期報告書提出予定日 2018年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・報道機関向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括 利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	33,916	△7.0	5,114	△20.0	7,490	△7.3	5,508	△1.7	5,231	△1.7	△7,111	—
2018年3月期第1四半期	36,455	△4.8	6,396	△13.0	8,083	14.8	5,606	5.1	5,322	3.0	20,102	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	36.03	35.97
2018年3月期第1四半期	36.67	36.61

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する資本合計	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	311,835	259,295	251,407	80.6
2018年3月期	344,609	271,150	263,285	76.4

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	32.00	32.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2. 2019年3月期の配当予想は未定です。

3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,000	7.6	15,500	△43.6	11,000	△52.1	75.78

- (注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 、除外 一社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期1Q	150,810,033株	2018年3月期	150,810,033株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	5,570,655株	2018年3月期	5,656,793株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期1Q	145,196,309株	2018年3月期1Q	145,118,051株

(注) 自己株式数については、株式付与ESOP信託口が所有する当社株式(2019年3月期1Q:274,984株、2018年3月期:361,122株)を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 連結業績予想に関して

本資料における将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(2) 配当予想金額に関して

2019年3月期の配当予想につきましては、業績の進捗等を総合的に勘案して金額を決定する予定です。決定次第、速やかに開示いたします。

(3) 決算補足資料の入手方法

当社は、2018年8月9日に機関投資家・アナリスト・報道機関向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料は、当四半期決算短信の適時開示後、当社ホームページに掲載いたします。また、決算説明会の動画、主な質疑応答等については、後日当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態の概況	2
(1) 経営成績の概況	2
(2) 財政状態及びキャッシュ・フローの概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(6) 継続企業の前提に関する注記	10
(7) 要約四半期連結財務諸表注記	10
① 会計方針の変更	10
② セグメント情報	10
③ 1株当たり利益	12
④ 重要な後発事象	12

1. 経営成績・財政状態の概況

(1) 経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2018年4月1日から2018年6月30日まで)におけるわが国経済は、緩やかに回復しました。

このような状況の下、当連結会計年度において当社グループは、中長期で企業価値を向上させるべく、主力のゲーム事業においては健全な収益性の確保や新規ヒットタイトルの創出、加えて、長期的に複数の収益の柱を育てていくことを見据えた成長へ向けた事業ポートフォリオの強化に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間において、売上収益は、主としてゲーム事業の減収により、前年同期比で減少いたしました。

売上原価・販売費及び一般管理費は、合計では、前年同期比で減少となりました。ゲーム内課金の決済等に関する支払手数料が減少したほか、各種費用の適正化に努めました。なお、前年同期には、連結子会社であった株式会社DeNAトラベルにおいて判明した2017年3月期以前における一部取引に係る原価計上漏れ等の修正を行っております。

その他の費用は、ゲーム事業における固定資産の除却が増加したことにより、前年同期比で増加いたしました。

以上の結果、当社グループの売上収益は33,916百万円(前年同期比7.0%減)、営業利益は5,114百万円(同20.0%減)、税引前四半期利益は7,490百万円(同7.3%減)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は5,231百万円(同1.7%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①ゲーム事業

ゲーム事業の売上収益は21,506百万円(前年同期比11.5%減)、セグメント利益は5,338百万円(同27.4%減)となりました。

ユーザ消費額は前年同期比で減少いたしました。費用面では、販売促進費・広告宣伝費や業務委託費等を中心に筋肉質化に着手したほか、さらなる固定費の最適化を継続的にを行い、健全な収益性確保に向けた取り組みを推進しております。

②EC事業

EC事業の売上収益は3,372百万円(前年同期比14.7%減)、セグメント利益は217百万円(前年同期は534百万円の損失)となりました。

決済代行サービスにおいては取扱高が堅調に推移した一方で、オークションサービスでは利用が減少しました。なお、前述のとおり、前年同期は、過年度における原価計上漏れ等の修正を行った影響でセグメント損失になっていたものです。

また、2018年5月31日付で当社の連結子会社であった株式会社DeNAトラベルの全株式を株式会社エボラブルアジアに譲渡しております。

③スポーツ事業

スポーツ事業の売上収益は6,752百万円(前年同期比6.8%増)、セグメント利益は2,401百万円(同6.9%増)となりました。株式会社横浜DeNAベイスターズの主催試合の平均観客動員数が好調に推移したことに加え、入場料以外の収入も順調に推移しました。

④新規事業・その他

新規事業・その他の売上収益は2,472百万円(前年同期比17.0%増)、セグメント損失は1,740百万円(前年同期は1,368百万円の損失)となりました。

当区分には、中長期での事業ポートフォリオの強化を目指した各種取り組みを含んでおりますが、当連結会計年度においては、オートモーティブ事業やヘルスケア事業、ネットサービスインキュベーション事業における一部のサービスにおいて成長投資を積極化しております。

(2) 財政状態及びキャッシュ・フローの概況

①財政状態

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は311,835百万円(前連結会計年度末比32,775百万円減)となりました。

流動資産は145,948百万円(同11,157百万円減)となりました。主な減少要因は売掛金及びその他の短期債権が5,794百万円減少したこと、その他の流動資産が5,817百万円減少したこと等によるものであります。

非流動資産は165,887百万円(同21,618百万円減)となりました。主な減少要因はその他の長期金融資産が19,440百万円減少したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は52,539百万円(同20,920百万円減)となりました。

流動負債は44,581百万円(同14,822百万円減)となりました。主な減少要因はその他の短期金融負債が3,376百万円減少したこと、その他の流動負債が8,269百万円減少したこと等によるものであります。

非流動負債は7,959百万円(同6,098百万円減)となりました。主な減少要因は繰延税金負債が5,605百万円減少したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の資本合計は259,295百万円(同11,854百万円減)となりました。主な減少要因はその他の資本の構成要素が12,513百万円減少したこと等によるものであります。

流動性に関する指標としては、当第1四半期連結会計期間末において流動比率327.4%、親会社所有者帰属持分比率80.6%となっております。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ1,455百万円増加し、105,123百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は7,601百万円(前年同期は11,726百万円の収入)となりました。主な収入要因は税引前四半期利益7,490百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2,604百万円(前年同期は3,136百万円の支出)となりました。主な支出要因は無形資産の取得3,710百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は3,846百万円(前年同期は5,924百万円の支出)となりました。主な支出要因は配当金支払額4,467百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期通期の連結業績予想につきましては、2018年5月10日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更ありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2018年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	103,668	105,123
売掛金及びその他の短期債権	40,574	34,780
その他の短期金融資産	2,878	1,876
その他の流動資産	9,986	4,169
流動資産合計	157,105	145,948
非流動資産		
有形固定資産	5,178	5,015
のれん	46,335	46,013
無形資産	18,840	16,155
持分法で会計処理している投資	16,503	17,715
その他の長期金融資産	99,563	80,123
繰延税金資産	1,020	854
その他の非流動資産	66	12
非流動資産合計	187,504	165,887
資産合計	344,609	311,835

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2018年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
買掛金及びその他の短期債務	20,426	17,084
未払法人所得税	1,371	1,535
その他の短期金融負債	21,884	18,508
その他の流動負債	15,722	7,452
流動負債合計	59,403	44,581
非流動負債		
非流動の引当金	949	956
その他の長期金融負債	988	498
繰延税金負債	11,895	6,290
その他の非流動負債	225	214
非流動負債合計	14,057	7,959
負債合計	73,460	52,539
資本		
資本金	10,397	10,397
資本剰余金	11,335	11,154
利益剰余金	210,044	210,575
自己株式	△12,010	△11,723
その他の資本の構成要素	43,518	31,005
親会社の所有者に帰属する資本合計	263,285	251,407
非支配持分	7,865	7,888
資本合計	271,150	259,295
負債及び資本合計	344,609	311,835

(2) 要約四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上収益	36,455	33,916
売上原価	△14,984	△13,894
売上総利益	21,471	20,022
販売費及び一般管理費	△14,988	△14,249
その他の収益	282	530
その他の費用	△368	△1,190
営業利益	6,396	5,114
金融収益	992	1,283
金融費用	△62	△119
持分法で会計処理している関連会社の純利益(純損失)に対する持分	758	1,213
税引前四半期利益	8,083	7,490
法人所得税費用	△2,478	△1,982
四半期利益	5,606	5,508
以下に帰属する四半期利益		
四半期利益：親会社の所有者に帰属	5,322	5,231
四半期利益：非支配持分に帰属	284	277
合計	5,606	5,508

(単位：円)

親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益

基本的1株当たり四半期利益	36.67	36.03
希薄化後1株当たり四半期利益	36.61	35.97

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期利益	5,606	5,508
その他の包括利益		
純損益に振り替えられないその他の包括利益の内 訳項目(税引後)		
資本性金融商品への投資による利得(損失) (税引後)	14,548	△12,702
純損益に振り替えられないその他の包括利益の内 訳項目(税引後)合計	14,548	△12,702
純損益に振り替えられるその他の包括利益の内訳 項目(税引後)		
為替換算差額(税引後)	△52	83
その他	0	△0
純損益に振り替えられるその他の包括利益の内訳 項目(税引後)合計	△52	83
その他の包括利益(税引後)	14,496	△12,619
四半期包括利益合計	20,102	△7,111
以下に帰属する四半期包括利益		
四半期包括利益：親会社の所有者に帰属	19,809	△7,353
四半期包括利益：非支配持分に帰属	292	242
合計	20,102	△7,111

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 資本合計	非支配持分	資本合計
2017年4月1日現在	10,397	11,215	191,870	△12,225	28,409	229,666	7,030	236,696
四半期利益	—	—	5,322	—	—	5,322	284	5,606
その他の包括利益	—	—	—	—	14,488	14,488	8	14,496
四半期包括利益合計	—	—	5,322	—	14,488	19,809	292	20,102
所有者への分配として認識した 配当	—	—	△4,643	—	—	△4,643	△1,177	△5,820
自己株式取引による増加(減少)	—	△247	—	196	—	△51	—	△51
株式報酬取引による増加(減少)	—	△30	—	—	—	△30	—	△30
利益剰余金から資本剰余金への 振替	—	56	△56	—	—	—	—	—
振替及びその他の変動による 増加(減少)	—	19	23	—	—	42	893	935
2017年6月30日現在	10,397	11,013	192,516	△12,029	42,897	244,793	7,038	251,831

当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 資本合計	非支配持分	資本合計
2018年4月1日現在	10,397	11,335	210,044	△12,010	43,518	263,285	7,865	271,150
四半期利益	—	—	5,231	—	—	5,231	277	5,508
その他の包括利益	—	—	—	—	△12,585	△12,585	△35	△12,619
四半期包括利益合計	—	—	5,231	—	△12,585	△7,353	242	△7,111
所有者への分配として認識した 配当	—	—	△4,645	—	—	△4,645	△693	△5,338
自己株式取引による増加(減少)	—	△336	—	287	—	△49	—	△49
株式報酬取引による増加(減少)	—	98	—	—	71	169	—	169
利益剰余金から資本剰余金への 振替	—	56	△56	—	—	—	—	—
振替及びその他の変動による 増加(減少)	—	0	△0	—	—	0	474	474
2018年6月30日現在	10,397	11,154	210,575	△11,723	31,005	251,407	7,888	259,295

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	8,083	7,490
減価償却費及び償却費	2,588	2,767
受取利息及び受取配当金	△825	△902
支払利息	4	4
持分法で会計処理している関連会社の純利益（純損失）に対する持分（△は純利益）	△758	△1,213
売掛金及びその他の短期債権の増減額（△は増加）	3,129	2,736
買掛金及びその他の短期債務の増減額（△は減少）	△1,770	△2,990
預り金の増減額（△は減少）	355	904
その他	2,193	△1,108
小計	12,999	7,687
配当金受取額	788	847
利息支払額	△4	△4
利息受取額	37	56
法人所得税支払額	△2,093	△984
営業活動による正味キャッシュ・フロー	11,726	7,601
投資活動によるキャッシュ・フロー		
子会社又はその他の事業の売却による支出	—	△628
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	554	1,818
有価証券及び投資有価証券の取得のための支出	△144	—
有形固定資産の取得	△141	△100
無形資産の取得	△3,340	△3,710
その他	△66	15
投資活動による正味キャッシュ・フロー	△3,136	△2,604
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入れによる収入	—	1,200
借入金の返済	△400	—
配当金支払額	△4,460	△4,467
非支配株主への配当金支払額	△1,154	△653
自己株式の処分による収入	91	74
財務活動による正味キャッシュ・フロー	△5,924	△3,846
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	2,666	1,151
現金及び現金同等物の期首残高	88,152	103,668
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△41	304
現金及び現金同等物の四半期末残高	90,778	105,123

(6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(7) 要約四半期連結財務諸表注記

① 会計方針の変更

当社グループは、当第1四半期連結会計期間より、IFRS第9号「金融商品」（2014年7月改訂）及びIFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」を適用しております。なお、当社グループの要約四半期連結財務諸表への重要な影響はありません。

本要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、上記を除き、2018年3月31日に終了した連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

② セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

当社グループは、主にモバイル・PC向けのインターネットサービスを提供しており、サービスの種類別に事業部門等を設置しております。各事業部門等は、取り扱うサービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは、サービスの種類別のセグメントから構成されており、「ゲーム事業」、「EC事業」、「スポーツ事業」の3つを報告セグメントとしております。

各セグメント区分に属するサービスの種類は、以下のとおりであります。

セグメント区分	サービスの種類
ゲーム事業	モバイル向けゲーム関連サービス（日本国内及び海外） 主要サービス： 「Mobage（モバゲー）」等
EC事業	eコマース関連サービス（日本国内及び海外） 主要サービス： 決済代行サービス、「モバオク」、「DeNAトラベル」（注）等
スポーツ事業	スポーツ関連サービス（日本国内） 主要サービス： 「横浜DeNAベイスターズ」、「横浜スタジアム」の運営、「横浜DeNAランニングクラブ」等
新規事業・その他	新規事業及びその他サービス（日本国内及び海外） 主要事業領域： IP創出プラットフォーム事業、ヘルスケア事業、オートモーティブ事業、ネットサービスインキュベーション事業等

（注）当社は、「DeNAトラベル」を運営していた株式会社DeNAトラベルの全株式を、2018年5月31日付で株式会社エボラブルアジアに譲渡いたしました。

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、及びその他の項目

報告セグメントの会計方針は、「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 (7) 要約四半期連結財務諸表注記 ① 会計方針の変更」における記載と同一であります。

報告セグメント間の売上収益は市場実勢価格に基づいております。

当社グループの報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失及びその他の項目は以下のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間

(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

(単位：百万円)

	ゲーム事業	EC事業	スポーツ事業	新規事業 ・その他 (注) 2	調整額 (注) 3	合計
売上収益						
外部顧客からの売上収益	24,286	3,778	6,278	2,112	—	36,455
セグメント間の売上収益	7	176	42	0	△226	—
計	24,294	3,954	6,320	2,112	△226	36,455
セグメント利益(損失) (注) 1	7,349	△534	2,247	△1,368	△1,211	6,482
その他の収益・費用(純額)						△87
営業利益						6,396
金融収益・費用(純額)						929
持分法で会計処理している 関連会社の純利益(純損失) に対する持分						758
税引前四半期利益						8,083

(注) 1 セグメント利益(損失)は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。

2 「新規事業・その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、IP創出プラットフォーム事業・ヘルスケア事業・オートモーティブ事業・ネットサービスインキュベーション事業等を含んでおります。

3 セグメント利益(損失)の調整額は全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第1四半期連結累計期間

(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

(単位：百万円)

	ゲーム事業	EC事業 (注) 2	スポーツ事業	新規事業 ・その他 (注) 3	調整額 (注) 4	合計
売上収益						
外部顧客からの売上収益	21,501	3,209	6,730	2,476	—	33,916
セグメント間の売上収益	5	163	22	△4	△186	—
計	21,506	3,372	6,752	2,472	△186	33,916
セグメント利益(損失) (注) 1	5,338	217	2,401	△1,740	△443	5,773
その他の収益・費用(純額)						△660
営業利益						5,114
金融収益・費用(純額)						1,164
持分法で会計処理している 関連会社の純利益(純損失) に対する持分						1,213
税引前四半期利益						7,490

(注) 1 セグメント利益(損失)は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。

2 「EC事業」に属する「DeNAトラベル」を運営していた株式会社DeNAトラベルの全株式を、2018年5月31日付で株式会社エポラブルアジアに譲渡いたしました。

3 「新規事業・その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、IP創出プラットフォーム事業・ヘルスケア事業・オートモーティブ事業・ネットサービスインキュベーション事業等を含んでおります。

4 セグメント利益(損失)の調整額は全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

③ 1株当たり利益

親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益 (百万円)	5,322	5,231
基本的期中平均普通株式数 (株)	145,118,051	145,196,309
希薄化性潜在的普通株式の影響 ：ストック・オプション等	239,474	250,137
希薄化後の期中平均普通株式数	145,357,525	145,446,446
親会社の所有者に帰属する1株当たり 四半期利益 (円)		
基本的1株当たり四半期利益	36.67	36.03
希薄化後1株当たり四半期利益	36.61	35.97

④ 重要な後発事象

該当事項はありません。